

知識の花卉

三田メディアセンターだより

No.11
2018春



撮影：新 良太

三田メディアセンターの 3つの図書館

知って良かった ツール&サービス

自宅から申し込める!

便利なオンラインリクエストを使いこなそう

コレクションの広場

ミニチュア・ブック

図書館の舞台ウラ

実験! 本の取り寄せ タイムトライアル

スタッフレポート

「Cool Japan」どころでない!?

主な出来事 (2017.10-2018.3)

お知らせ



慶應義塾大学 三田メディアセンター

三田メディアセンターの3つの図書館

三田メディアセンターには「慶應義塾図書館」「図書館旧館」「南館図書室」の3つの図書館があります。

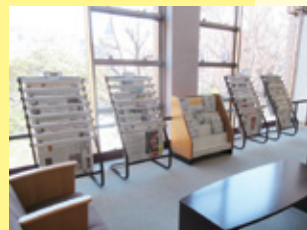
人文・社会科学分野の専門書を中心とした約280万冊の蔵書に加え、
オンラインデータベースや電子ジャーナルなどの電子資料も数多く導入しています。
学習・研究の強い味方である三田メディアセンターをぜひ使いこなしてください。



慶應義塾図書館 (新館)

メディアセンター内のPCは電子資料の検索専用端末です。レポートの作成はできませんのでご注意ください。

三田キャンパス内でも存在感を放つメインライブラリー。
図書、レファレンスブック、雑誌・新聞があります。
文学部の学部図書も置かれています。



それぞれのカウンターでみなさんをお待ちしております。

1F **メインカウンター**
貸出・返却、
予約資料の受け取り

1F **ILLカウンター**
学外から取り寄せた資料の
受け取り、他地区資料の再貸出

1F **レファレンスカウンター**
データベースの利用、
資料探しの相談

3F **3階カウンター**
セミナー室、キュービクル、
マイクロリーダーの利用手続き

必須ツール「KOSMOS」 <http://kosmos.lib.keio.ac.jp/>

蔵書検索システム「KOSMOS」で検索して資料を探すことができます。

キーワードを入力してお目当ての資料を見つけたら「全ての所蔵」をクリックしましょう。

ほしい資料がどこにあるか
「地区」と「配架場所」を
チェック!

地区	配架場所
三田	地下1階
	南館 地下4階
	別館 T
日吉	2階 西閲覧室

建物名がないものは、新館にあります!

状態が「**在架**」と確認できたら、
書架にgo!

「別館 T」「別館 J」「学外書庫」
「研究室棟」「山中資料センター」
など図書館外にも資料があります。
スタッフが出納します。

Library
2

図書館旧館

義塾創立50周年を記念し1912年に建てられた歴史ある図書館で、重要文化財に指定されています。洋書・視聴覚資料・和装本・学位論文・経済学部の学部図書などが置かれています。

図書館旧館は現在耐震補強・改修工事中ですが、ご利用いただけます。

入口は建物の側面（研究室棟側）にあります。

3階から入館できます。



入口

⚠ 旧館の一部の資料を仮移転しています

工事のため、旧館にあった資料の一部を「研究室棟」「別館T」「別館J」「学外書庫」に移転しています。これらの4カ所および後述の「山中資料センター」に配架されている資料は直接書架を見に行くことはできません。スタッフが出納しますので、お申し込みください。

詳細はウェブサイトをご確認ください。

👉 <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/oldbuilding1.html>

Library
3

南館図書室

南館の地下2階～地下4階に位置する、最も新しい図書室です。

入口は地下3階です。法務研究科の資料、法学部・商学部の学部図書が置かれています。



遠隔書庫

山中資料センター

増え続ける資料による書庫狭隘化の解消と資料保存を目的として、1994年に山梨県南都留郡山中湖村に「山中資料センター」が開設されました。ここには三田をはじめとした各地区メディアセンターの資料の一部が保管されています。1号棟・2号棟があり、合わせて約150万冊を収容できます。こちらの資料も取り寄せできますが、郵送のためお時間をいただきます。



自宅から申し込める！ 便利なオンラインリクエストを使いこなそう

図書館のサービスを受けたいけれど、申し込みのために図書館まで足を運ぶのは大変…!? 実は、図書館の様々なサービスはオンラインで申し込めるのをご存知でしょうか。この「オンラインリクエスト」と呼ばれる、ウェブサイトからお申し込みいただける様々な図書館サービスについて、簡単にご紹介します。

どこから利用できるの？

三田メディアセンターのウェブサイトのトップページに、「オンラインリクエスト」というメニューが表示されています。ここから各サービスの申込画面に進んでください。すべての「オンラインリクエスト」サービス一覧を表示させる場合は、「一覧」をクリックしてください。

➡ <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/online/>



どんなサービスを利用できるの？

学内図書取寄せ申込

山中資料センターにある雑誌や個人文庫など、KOSMOS MyLibraryでリクエストできない資料を取り寄せたい場合に利用します。通信教育課程生の方がスクーリング期間に他キャンパスから資料を取り寄せる際にも利用してください。届いた資料の受取窓口は、メインカウンターです。

学外図書取寄せ申込／文献複写取寄せ申込

慶應に読みたい本や雑誌が所蔵されていない場合、学外の所蔵機関から資料そのものや文献のコピーを取り寄せることができます（一部を除き有料）。届いた資料の受取窓口は、ILLカウンターです。

紹介状発行申請

学外の図書館を訪問利用するときに必要な紹介状の発行申請ができます。慶應が所蔵していない資料を閲覧したいときにお申し込みください。紹介状の受取窓口は、レファレンスカウンターです。

質問のすゝめ！

「こんな情報を探しているのだけど、うまく見つけれない!」「この資料はどうやって入手すればいいの?」「データベースの使い方がよく分からないのだけど…」など、図書館スタッフに教えてほしいこと、サポートしてほしいことは何でもご相談ください。メールなどご希望の方法で回答します。



購入希望申込

学習・研究に必要な本が慶應にない場合、購入希望を出すことができます。内容を確認し、購入可否をメールで連絡します。

ライブラリー・オリエンテーション申込 **NEW!**

図書館が開催する毎年人気のオリエンテーション「文献探索ツアー」「データベース体験講座」「引用・参考文献の基礎講座」の申し込みができます。3名以上のグループ単位（「データベース体験講座」は7名以上）でお申し込みください。4月や5月はすぐに予約で埋まってしまうので、早めにお申し込みいただくことをおすすめします。

「オンラインリクエスト」を活用すれば、サービスを使うために何度も図書館に足を運ばなくてもよいので、時間の節約にもなりますね。ぜひこの便利な「オンラインリクエスト」をご活用ください。



ミニチュア・ブック

本好きだったら、読めないのがわかっていても、ついつい本を買ってしまうということがあるのではないのでしょうか。でも、本って「積読（つんどく）」という言葉があるくらい、あっという間にかさ張りますよね。スペースはないけれどたくさんの本を集めたい、そんな願いをかなえてくれる本があります。それがミニチュア・ブックです。



ミニチュア・ブックは日本語では豆本と呼ばれますが、この2つの言葉は似て非なるとは言わないまでも、指し表すものが微妙に異なります。

ミニチュア・ブック miniature book：高さが3インチ（75mm）以下の本

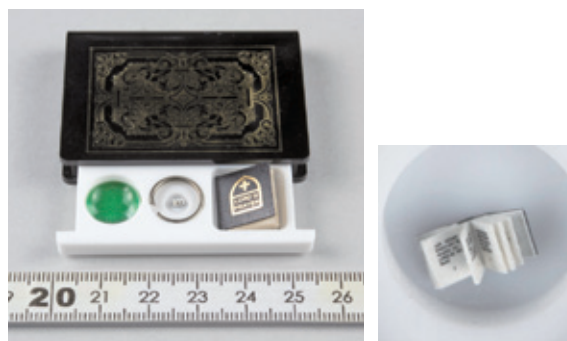
豆本：高さが10センチ以下の本（江戸時代以前は「美濃半紙を8つ切した大きさ（およそ14センチ×10センチ）」以下のもの）

さらには、dollhouse miniature book（おおむね1-2インチの本）や雛本（こちらはサイズの規定はなくままと遊びや雛祭りに用いた小形の本を指す）といった表現もあります。

ミニチュア・ブックは、もともと携帯用の図書としての需要に応じて発展してきたと考えられますが、そのうち「小さいこと」にこだわった本づくりも行われるようになります。2013年に凸版印刷が作成・発行した0.75ミリ四方のマクロブック（micro book：1cm以内の本の呼称）「四季の草花」が世界的に有名ですが、その後も小さい図書への挑戦は

続いています。ただ、これより小さくなるとはやはり電子顕微鏡の助けなくしては見ることはできないため、「四季の草花」が現実的なレベルでの最小の本といってよいのではないのでしょうか。

さて、三田メディアセンターが所蔵している一番小さい本はどのくらいのものだと思いますか？ 0.75ミリとまではいきませんが、1.4ミリ四方の本を所蔵しています。「Lord's Prayer（主の祈り）」（凸版印刷、1981）と、「世界最小豆本：蟻」（びじゅぶっく・ほしの、1980）です。凸版印刷は1960年代から世界最小の本の製作に取り組んでおり、「Lord's Prayer」もその流れに位置づけられるものです。「世界最小豆本：蟻」は、豆本の出版社びじゅぶっく・ほしのが世界最小を目指して製作したもので、若山牧水の童謡二篇が収められています。



こうしたミニチュア・ブックのコレクションは、主に大きな2件の寄贈によって構築されています。一つは井関利明名誉教授から寄贈された2,000点を超えるコレクション、もう一つは慶應義塾幼稚舎長であった吉田小五郎旧蔵書の中にも含まれる100点前後の和書を中心としたコレクションです。通常は保存用の書庫に置かれていますが、この春「ミニチュア・ブックの世界」展を開催します。（会場：1階展示室 会期：3/19(月)～5/19(土)）。この機会に珍しい資料の数々をぜひご覧ください。（木下和彦）

実験！本の取り寄せ タイム

取り寄せした本ってどのくらいで届くの？ KOSMOSの「移動中/処理中 20990101」そんな疑問にお答えすべく、スタッフ自ら日吉や山中資料センターの本を三田に取り寄せて実験してみました。

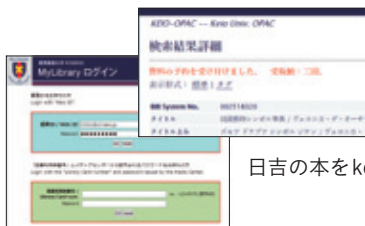
曜日や取り寄せ先によって到着までにかかる時間や日数が違うので注意。早めに申し込むのが

基本編

一日吉からの旅

START

Thu / PM5:15



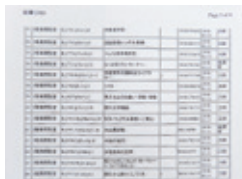
日吉の本を keio.jp でリクエスト

KOSMOSの表示が「在架」から「予約」に変化。

状態/返却期限
予約

日吉

Fri / AM8:55



他キャンパスから申込された日吉の本の貸出希望リストをAM8:55とPM2:55に出力。
※8:55に間に合わない申込は翌開館日(平日)の発送です。週末注意!

リストを元に日吉スタッフが書架で本を探し、事務室に持ち帰ります。



PM4:00~

図書館1階 事務室



閲覧担当スタッフが「青箱」から本を出し、Book-IDをスキャン。「予約取り置き票」が印刷されます。

スキャンと仕分け作業は同時進行です!

物流が多い日は夕方の1階事務室がほぼ戦場に…。



「予約取り置き票」を本に挟み申込者ごとにまとめて名前順にします。大変そう…



申込者ごとに本をゴムで束ねます。

これが実は結構時間がかかる作業。でも、氏名順にまとめた方が複数の本をあちこちから取り寄せる人も、受け取り損ねなし!



メールが来たらいざ図書館へ!

KOSMOS表示が変化。「予約取置中」申込者には到着メールが送信されます。

状態/返却期限
予約取置中

図書館1階 メインカウンター



取り寄せた本がずらり並んで申込者のお迎えを待っています。

トライアル

予約」って一体なに？

意外に山あり谷ありな、本の旅をご覧あれ！

オススメです！

協力：日吉メディアセンター



状態/返却期限

移動中/処理中
20990101
予約

「資料移動票」を本にはさんで塾内便の「青箱」に入れたら、午後イチの三田への旅の準備完了！



Book-IDをスキャン。
「資料移動票」の紙が印刷されます。
KOSMOSも表示が変化。
「移動中/処理中20990101予約」



三田



Fri / PM 4:00

図書館通用口

他キャンパスを巡って塾内便が三田に到着。用務員さんたちが荷下ろし中です。
※塾内便は曜日によって到着時間が違います。

メール到着直後に借りに行く、まだ仕分け作業が終了していないことも…。

いろんな人の手を経て、本が旅をして来るんですね。

Fri / PM 5:10



GOAL

翌日夕方には、取り寄せた本を無事借りられました！

番外編 1

Tue / PM 1:57

地区	配架場所
三田	別館J

別館Jの本を keio.jp でリクエスト

PM 3:30



三田

閲覧担当スタッフが三田キャンパスの近くの「別館T」「別館J」に本を出納しに行きます。
※平日の午後に1回出動。



図書館から出てキャンパス外へ…

PM 3:50

図書館1階 事務室

出納してきた本のBook-IDをスキャン。申込者にメールが送信されます。

Tue / PM 4:47

図書館1階 メインカウンター

別館Jの本借りられました！



番外編 2

Mon / PM 4:36

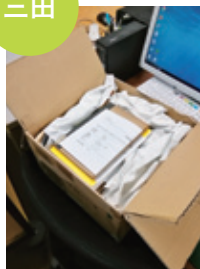
地区	配架場所
三田	山中資料センター2号棟

山中資料センターの本を keio.jp でリクエスト



「山中資料センター」は山中湖畔にある保存書庫です。

三田



Wed / PM 1:35

図書館1階 事務室

山中資料センターからの取り寄せ本はゆうパックで届きます。
※到着時間は天候を含め、郵便事情によります。

閲覧担当スタッフがBook-IDをスキャン。申込者にメールが送信されます。



Wed / PM 2:00

図書館1階 メインカウンター

山中資料センターの本借りられました！





「Cool Japan」どころでない!?

新保 佳子
(選書担当)

欧州の書店や公立図書館には英訳された日本の漫画が置かれ、スーパーには寿司が並ぶなど、欧州の街で日本のポップカルチャーや日本文化の影響を見ることは珍しいことではなくなりました。しかし、欧州における日本関連の学術情報を取り巻く環境はどうなっているのでしょうか。

2017年9月から12月まで、イギリス・ノリッジにあるセインズベリー日本藝術研究所リサ・セインズベリー図書館の資料関連業務をお手伝いする一方、イギリスを中心として欧州の日本関連研究情報を扱う図書館等（以下、日本研究図書館）の訪問や、会議参加の機会をいただきました。そうした会議の一つ、EAJRS (European Association of Japanese Resource Specialists) の年次大会（第28回日本資料専門家欧州協会年次大会）では、欧州や北米など

各国・各地域の日本研究支援の状況やその所蔵コレクションについて知ることができました。

EAJRSは、欧州における日本に関する情報やその資料の普及を目的に、日本関連資料を扱う大学・組織に所属する図書館員・研究者を中心として構成されています。欧州の日本研究図書館は1名で全ての業務を行っているところが多いため、他の図書館と情報共有や共同でのプロジェクト遂行を行うべく、協力関係を重視しています。毎年大会が行われ、2017年は9月13日から16日の4日間の日程でノルウェーのオスロ大学を会場に開催されました。イギリス、アイルランド、フランス、スイスなどの欧州のほか、日本や北米からも多数の参加者があり、出席者は総勢94名。「Digital Strategies for Japanese Studies: Theories and Practices (日本学支援のデジタル対策)」をテーマに30の発表がありました。

日本からは、新しく構築したデータベースやプロジェクトの紹介、海外からの日本関連情報へのアクセス向上を目指す取組みなどが発表されました。北米からは、大学図書館が所蔵する稀少な日本関係コレクションの資料整理プロジェクトの紹介がありました。このように他で所蔵していない資料についてウェブ上で資料検索や画像視聴が可能になることは、日本のみならず海外の研究者にも役に立っています。欧州からは、予算や人員が限られる中、デジタルの利点を生かしてサービスやプロジェクトに取り組む



第二会場のGeorg Sverdrups hus (Blindernキャンパス)

事例が紹介されました。タンペレ大学図書館（フィンランド）では北欧のネットワークで日本の新聞データベースを利用する仕組みを作っています。ヴィータウタス・マグヌス大学（リトアニア）で作成されているオンラインの日本語・日本研究教材は質量ともに圧倒されるものでした。



会場の様子

しかしながら、海外の日本研究図書館を取り巻く環境は決して恵まれたものではありません。さまざまな問題がありますが、今回の大会テーマであるデジタル（＝電子資料）に関連した事柄では、日本における電子資料の展開が遅れている、海外からウェブ上での日本国内の所蔵情報が見えにくい、などがあげられます。日本における日本語の人文・社会科学系の電子リソース（電子ジャーナル・データベース・電子ブック等）は十分に整備されているとはいえ、その種類・数も多いとは言えません。海外での利用が想定されていないことから契約できないこともあります。無料で利用できる電子リソースの場合でも、館内のみ・日本のみでの公開に制限されていたり、あちこちに散在して辿り着くことが難しく、目につきやすいポータルのようなものが欲しいという意見もあります。

EAJRSについて興味のある方は以下のサイトを覗いてみてください。今回から一部YouTubeでの

視聴も可能になりました。2018年度は「(G)localizing Japanese Studies Resources ((G)ローカル化する日本資料)」というテーマで、リトアニアにて9月12日から15日の日程で開催される予定です。

👉 <https://www.eajrs.net/conferences/>

今回訪問したイギリスやフランスの日本関係図書館では、予算の圧倒的な不足と毎年の削減に悩む声が聞かれました。資料購入予算の比重を紙から電子に移す傾向にある所では、電子リソースが少ない日本資料の購入予算は更に削減されることとなります。更に、最近は図書館員の定年退職後にそのポストが廃止されたり、日本語がわからない図書館員の兼務となる例も聞かれました。

同じ東アジアの中国や韓国では、資料の電子化が進むと同時に多数の電子リソースをまとめた契約が容易になっています。また、政府や民間から大規模な金銭的・人力的援助が見られます。対照的に日本からの支援は縮小傾向で、公的支援もより必要と感じられました。

日本の大学図書館も海外の日本研究図書館への支援として何ができるのかも考えていかねばなりません。近年は学問のグローバル化・学際化により、日本関連の情報が必要な人が必ずしも日本語ができ日本事情を熟知しているわけではないようです。電子化や日本語以外での情報提供ももちろん必要ですが、海外にも利用者が存在することを意識することから始めるべきでしょう。そして、海外から日本の情報の所在が見えにくい、という問題は、日本国内の利用者に対しても通じるものが多いと思われます。更にそれは電子資料のみならず紙の資料にも言えることです。日本の利用者に対してもどういったサービスを行っていくべきかという姿勢につながっています。

第29回慶應義塾図書館貴重書展示会

「古文書コレクションの源流探検 ―反町十郎、反町茂雄、木島誠三、木島櫻谷、そして…」開催

2017年10月4日～10日、丸善・丸の内本店ギャラリーで貴重書展示会が開催されました。

初めて本格的に古文書に焦点を当て、塾員・反町十郎氏寄贈による、鎌倉～江戸時代にわたる古文書コレクション「反町文書」を展示しました。様々な出所からコレクター視点で集められた蒐集文書という性格に着目し、その形成過程や源流を探るのが企画テーマです。尊氏・信長・秀吉・家康などの著名武将の文書を多く含み、これらが誰の手を経てどのように残ってきたのか、また古文書の形態やその背景にある歴史的事実の探求にも渡る内容は、専門家から一般の方まで幅広く楽しめる構成となりました。3回開催したギャラリートークはいずれも大好評を博し、トークの動画撮影（1回）や会期内での図録完売に伴う増刷・予約販売など、展示会史上初の出来事も続出しました。



上杉謙信書状 [元龜3年] (1572)
9月23日 (33.5×34.3cm)

日曜開館 2017年度実施報告



日曜・祝日開館を2015年度から試行しています。2017年度は、12月から1月にかけて7回実施しました。新館・旧館・南館合わせて1日の平均入館者数は520人でした。

利用者アンケートで寄せられたご意見を参考に開館日程やサービス体制を検討し、全フロアの閲覧席の利用、資料の貸出・返却サービスを提供しています。いつもよりゆったり静かな閲覧席で、試験勉強や卒業論文執筆に集中するには快適な環境と好評です。

2018年度も同時期に実施予定です。

2017年度資料移動作業について

2016年度の山中資料センター第2棟建設及び図書館旧館の耐震工事を発端とし、限られた書架スペースを有効活用するため、継続的に資料移動を行っています。

2017年度は、新館・旧館に分かれて配架されていた図書館洋書 (B@) をまとめ、旧館には図書館洋書 (B@)、新館には図書館和書 (A@) とわかりやすい配置を目指しました (耐震工事に伴う別置を除く)。新館では、旧館へ移動した洋書の跡地を利用し、複雑に配架されていた地下1・2階の和書の再配置を行いました。そして、年々増加する図書の配架スペースも確保することができました。また、現在は5階図書館・情報学資料室の図書・雑誌を移動作業中です。

工事及び資料移動でご不便をお掛けしていますが、使いやすい図書館を目指して少しずつ作業を進めています。ご理解のほどよろしく申し上げます。

お 知 ら せ

利用者調査アンケート「LibQUAL+®」を実施しました

2017年11月1日から12月8日までの間、利用者調査アンケート「LibQUAL+®」を全キャンパスのメディアセンターで実施しました。全体で6,696件、三田メディアセンターで2,411件の有効回答が集まりました。ご協力いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。

利用者調査アンケートLibQUAL+®とは、SERVQUALというサービス全般を対象とした品質調査を図書館用に改良したもので、利用者が図書館サービスについて評価を行うウェブ調査パッケージです。北米研究図書館協会（ARL：Association of Research Libraries）とテキサスA&M大学が共同開発し、これまでに北米を中心に世界で累計1,000館以上が利用しています。慶應義塾大学メディアセンターでは、2008年にも調査を実施しました。

調査データの簡単な分析から、学部生は「紙の資料の充実」や「学習空間の整備」に対する期待が大きいものに対して、大学院生および教員は紙の資料はもちろん、「データベースや電子ジャーナルの充実」が重要だと考えていることが分かりました。さらに細かいニーズやサービス改善のポイントを探るべく詳細な調査データを分析中です。学部生や大学院生、通信生、留学生、教職員など立場によって異なる様々なニーズを認識し、よりよい図書館作りに活かしていきたいと考えています。速報はウェブサイトにて公開予定です。

➡ <http://libguides.lib.keio.ac.jp/libqual2017/>



11/1 Wed. ---> 12/8 Fri.
利用者調査アンケートにご協力ください
Please take our library survey

We are listening.
抽選で50名様に図書カードを差し上げます。
50 people will win a book voucher by lottery.

ライバル LibQUAL+
メディアセンター利用調査WG
Library Assessment WG

4階フロア リニューアル

昨年行った1階のイベントエリア新設に続き、4階フロアをリニューアルしました。

事務室のパーティションとカウンターを撤去し、ゆったり学習できる閲覧テーブル4台（16席）を設置しました。4階は洋雑誌、法令判例、大学紀要などの資料があり、静かに学習するフロアです。どうぞご活用ください。

今後もフロアごとのコンセプトに基づいたエリア分けにより、利用者みなさんの異なるニーズに合わせた多様な閲覧・学習スペースを提供することを目指していきます。



『知識の花弁』 読者アンケート

『知識の花弁』読者アンケートを2017年10月6日～11月30日に実施しました。ご協力ありがとうございました。

記事内容については概ね好評でしたが、「いつ発刊されているのか、わからない」「どこに置かれているのか、わからない」というご意見がありました。これを踏まえて、新しくポスターを作成し、1階のエレベーターホール前には最新号をバックナンバーと合わせて置きました。

今後取り上げて欲しいテーマや本誌に関するご意見もいただきました。アンケート結果を参考にし、毎号楽しみにしていただけるような内容にしていきたいと思えます。



編集後記

アンケートご協力ありがとうございました。楽しみに待ってくださる方がいることがわかってひと安心。待ちくたびれる前に次号を発行できるように、今年からは年3回発行をめざします。次号は8月下旬、三田キャンパスの夏期スクーリングに合わせて発行の予定です。編集担当が数名入れ替わり、フレッシュな陣営であれもこれもお知らせしたいと奮闘中。しばらくは勢い余った勇み足が垣間見えても暖かく見守っていただければ幸いです。

編集・発行 慶應義塾大学 三田メディアセンター
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL 03-5427-1625 FAX 03-5484-7780
発行日 2018年4月1日
印刷 有限会社 梅沢印刷所

<http://www.mita.lib.keio.ac.jp>
Twitter: @Keio_MitaLib

バックナンバーはこちらから ⇨

